

石油小形給湯機

取扱説明書

保証書付

形 式	品 番
RPH40 K	RPH40K・KB・KSS・KSSB KE・KEB・KF・KFB・KLS・KLSB
RPH41 K	RPH41KFW・KFWB
RPH32 K	RPH32K・KB・KSS・KSSB KE・KEB・KF・KFB

品名 ハイアクティ



ご使用の前に

使用 方 法

点検・手入れ他

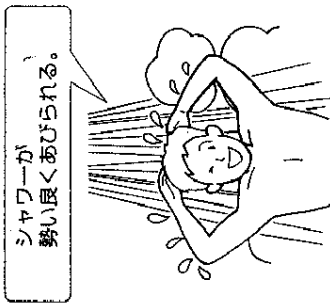
- このたびは**TOTO**石油小形給湯機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用前にこの説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。

TOTO

特長

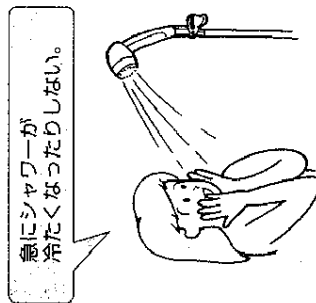
■水道直圧式

お湯を貯めずに、水道の圧力をそのまま活かして給湯。
減圧弁・逃し弁が不要で2階でも勢いのいいシャワーが楽しめます。



■ハイトリコン機能、燃焼比例制御

再出湯の温度変化を防止しシャワーを安心して、ご使用いただけます。



十もくじ

特に注意していただきたいこと	1
各部のなまえ	
外観図	7
リモコン	10
使用前の準備	
燃料・給油のしかた（空気抜きの方法）	11
運転開始前の準備と確認	12
使用方法	
お湯の出しかた	13
お湯の温度を変えたいときに	14
浴室から人を呼びたいときに	16
リモコンのプサー音の大きさを変えたいときに	17
リモコン画面の明るさを変えたいときに	18
停電後の使用方法	18
凍結予防	19
外気温がマイナス15℃までで無風のとき	20
外気温がマイナス15℃以下・長期不在のとき	21
使用上の注意	23
長期間使用しないとき	24

使用方式

点検・手入れ他

点検・手入れ	25
定期点検	27
故障・異常の見分け方と処置方法	
つぎのような場合は故障ではありません	28
安全装置が作動したときの処置方法	29
その他の装置が作動したときの処置方法	30
修理を依頼される前に	31
部品交換のしかた	32
仕様	33
アフターサービス	33
取り付け	39
保証書	39
裏紙	

※特に注意していただきたいこと※

＜安全に正しくお使いいただくために＞

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告：

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意：

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的禁止		分解禁止
	必ず行う		ガソリン厳禁
	一般的注意		高温注意
	接触禁止		プラグを抜け

警告

■ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないください。
火災のおそれがあります。

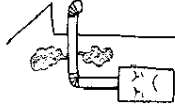


ガソリン厳禁

■外れ危険

【強制給排気形の場合】

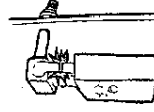
排気筒が正しく接続されているか点検してください。万一外れたりしている場合は、お取付店等にご相談ください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



必ず行う

【強制給排気形の場合】

給排気筒（管・ホース）が正しく接続されているか点検してください。万一外れたりしている場合は、お取付店等にご相談ください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



必ず行う

特に注意していただきたいこと

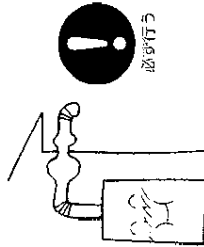
警告

■排気筒の閉そく危険

【強制排気筒の場合】

排気筒がつまったり、ふさがれていないことを確認してください。万一つまったりしている場合は、お取付店等にご相談ください。

閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



■給排気筒トップ閉そく危険

【強制給排気筒の場合】

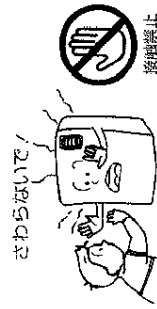
積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



注意

■高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部（排気口周辺）、排気筒（排気筒トップ、給排気筒トップ）に手などふれないように注意してください。
やけどのおそれがあります。



■高温注意

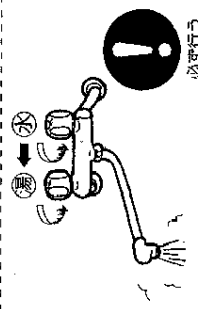
- シャワーを使用する場合は、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
- やけどのおそれがあります。
- 入浴するときは、手で湯温を確かめてください。
- やけどのおそれがあります。



- シャワーを使用中は、使用者以外の人を設定温度を変更しないでください。
- 高温に設定するとやけどのおそれがあります。



- 混合栓などで一度お湯を止めた後、すぐに再使用する場合は必ず給水栓から開け、つぎに給湯栓を開けてください。湯側から開けると、いきなり熱湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。



■使用上の注意

油タンクの元栓を閉めた状態やリモコンの運転スイッチが「切」の状態では給湯栓を開けないでください。火がつかない状態で通水すると機器内に結露水が発生し故障の原因になります。

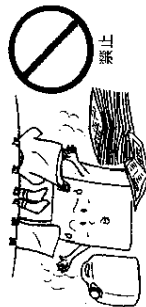


※特に注意していただきたいこと※

⚠ 注意

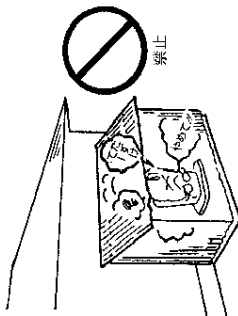
■可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすい物（紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など）を置かないでください。
火災の原因になります。



■囲い禁止

増改築などによって機器や排気口・給排気筒トップなどを波板やビニールなどで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。



■分解修理・改造の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。



■換気必要

【強制排気形の場合】
空気取入口、換気口をふさがないでください。
ふさがれていると不完全燃焼を起こすことがあります。



⚠ 注意

■電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



■電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。



■長期間使用しないときは

- 電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



- 水抜き（21・22ページ参照）を行ってください。
凍結により機器が破損する場合があります。



■電源プラグのお手入れを

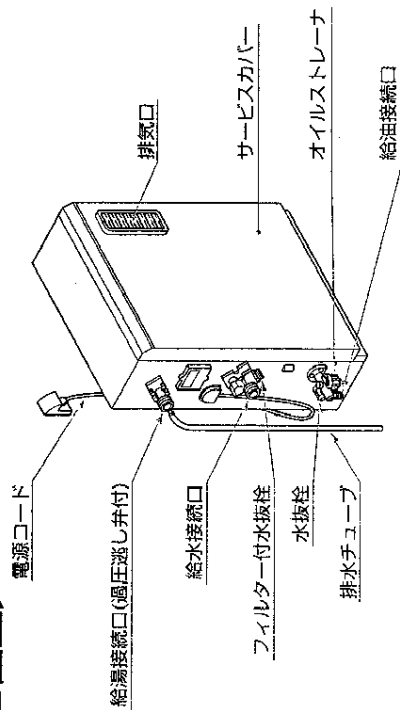
ときどきは電源プラグを抜き、ほこり（及び金属物）を除去してください。
ほこりがたまりると温気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



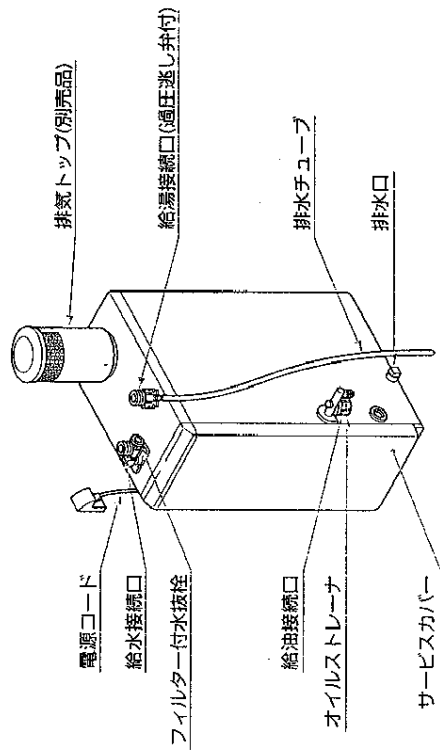
各部のなまえ

外観図

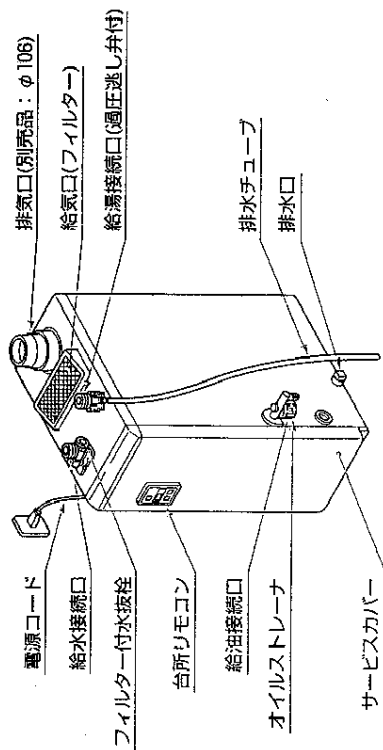
屋外据置形 〔よこ置型〕



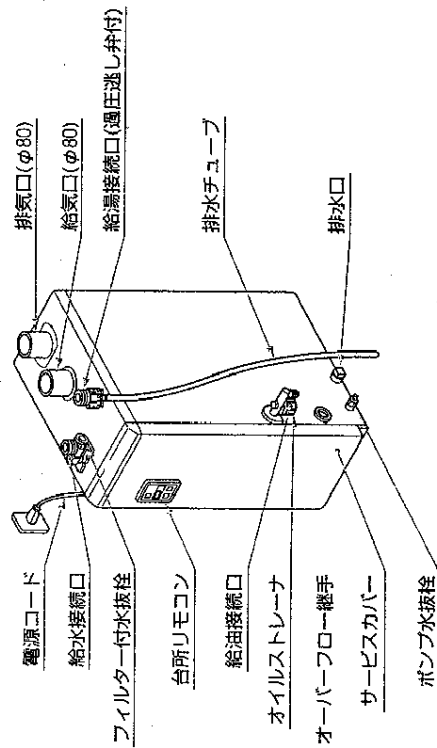
〔たて置型〕



屋内据置・強制排気形



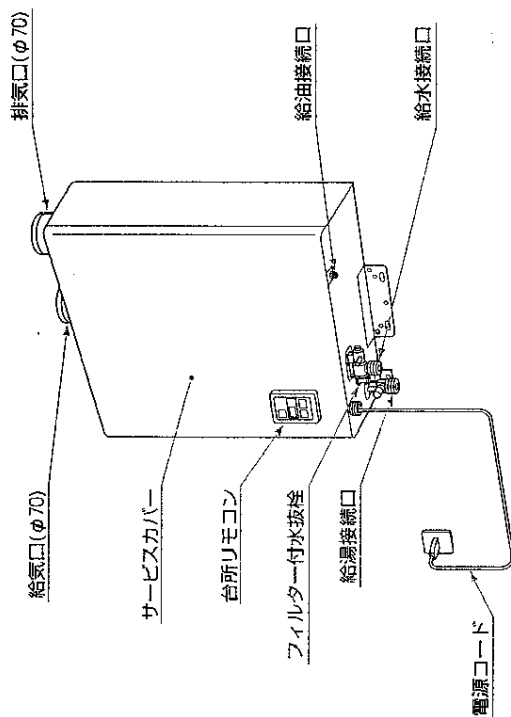
屋内据置・強制給排気形



各部のなまえ

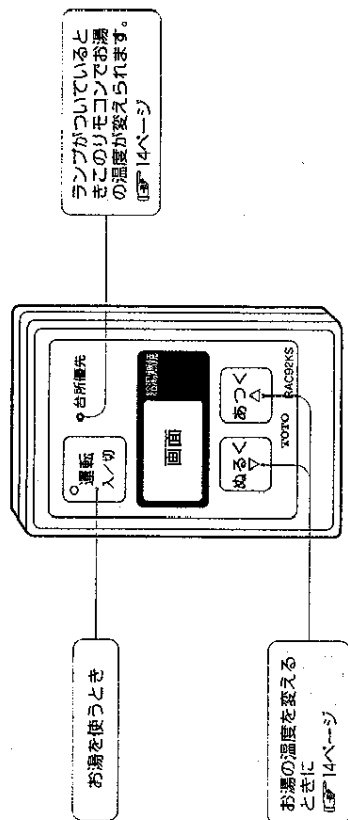
外観図

屋内壁掛・強制給排気形

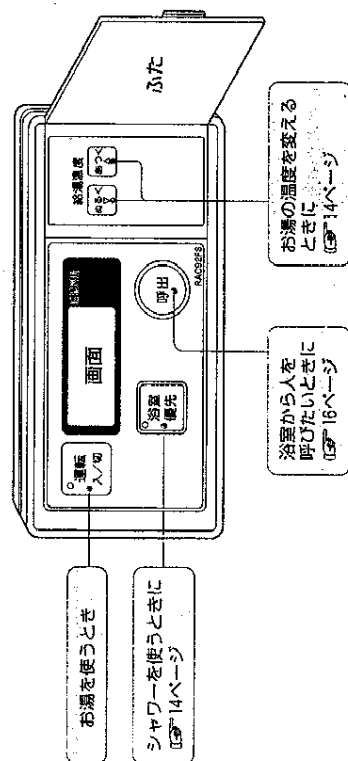


リモコン

台所リモコン (付属品)
(RAC92KS)

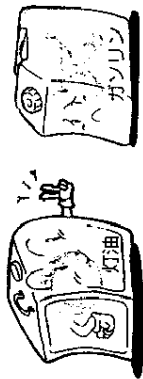


浴室リモコン (別売品)
(RAC92FS)



使用前の準備

燃料



燃料は、灯油（JIS1号灯油）を必ず使用してください。

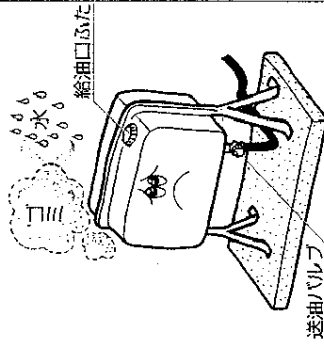
給油のしかた

●給油の際の注意

- ① 給油の際に水・ゴミなどを入れないように特に注意してください。
水・ゴミなどは燃焼不良や機器の寿命低下などの原因となります。
- ② 給油口ふたは確実に閉めてください。
- ③ こぼれた灯油はよくふきとってください。

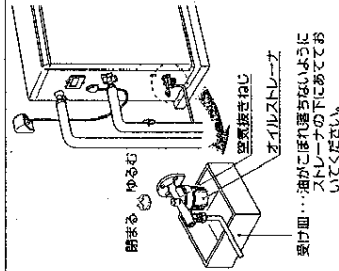
●燃料切れの注意

- ・油タンクを空にしないよう注意してください。
- ・空になってから給油すると排気口から白い煙が出る場合があります。
- ・はじめて使用するときや、万一空になったときは、給油後、つぎの方法で空気抜きをしてください。



●空気抜きの方法

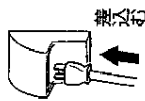
- ① 油タンクの送油バルブを開けてください。
- ② オイルストレーナの下に受け皿を置いてください。
- ③ オイルストレーナの空気抜きねじを左に約2～3回転させて、ゆるめてください。
(ねじのすき間から空気と油が出てきます。)
- ④ ねじのすき間から油だけがでてきたら空気抜きねじを締め付けてください。(空気抜き完了)
- ⑤ 周囲にこぼれた油は布でよくふきとってください。



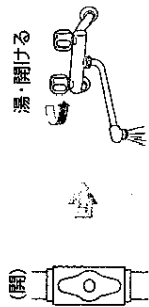
受け皿…油がこぼれ落ちないようにストレーナの下にあてておいてください。

運転開始前の準備と確認

1. 交流100Vコンセントに電源プラグを差込んでい



2. 給水元栓を開き、すべての給湯栓から水の出ることを確認してください。



3. 送油バルブを開けてください。また油タンクや送油管の接続部などから油漏れはないか、確認してください。

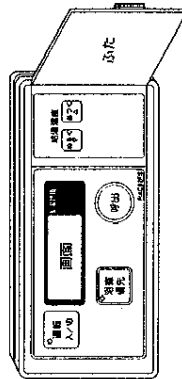
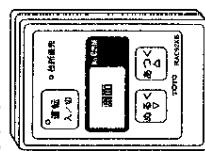


使用方

●リモコンで出湯温度を38～50・60・75℃に調節できます。

(RPH41の最高温度は60℃です。75℃のお湯はできません。)

■台所リモコン (付属品) ■浴室リモコン (別売品)



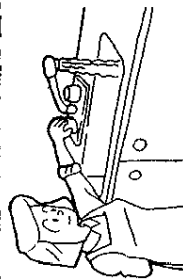
※画面に表示している温度と給湯栓から出る湯温は配管の長さや気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

お湯の出しかた

① 電源を入/切

※最初は42℃に設定されています。

② 給湯栓を開ければ、お湯が出ます。



③ 使用後、給湯栓を閉めます。
運転停止するときは再度運転スイッチを押してください。



●給湯栓を開けたとき、給湯配管内の冷水が出てしまうまで、ご希望のお湯は得られませんが、しばらくすると、ほぼ表示の湯温になります。
●湯量が少ない場合は、点火しないことがあります。
このときは、湯量を多くして使用してください。

お湯の温度を変えるときに

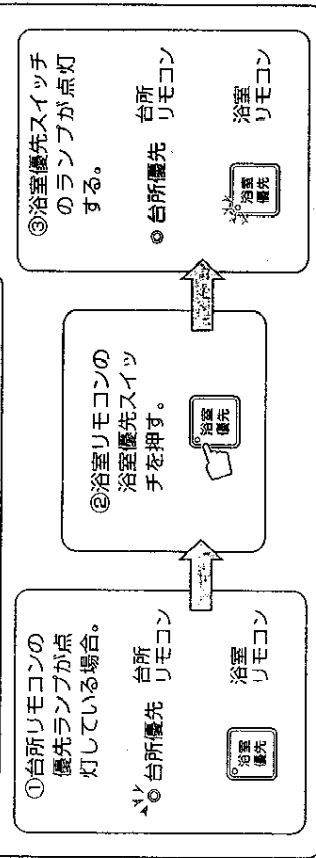
① 電源を入/切

② 優先ランプは点灯していますか？

※優先ランプが点灯しているリモコンで温度調節ができます。

※別売品の浴室リモコンを取付けた場合

浴室リモコンに優先ランプを点灯させるには



※再度台所リモコンの優先ランプを点灯させるには、浴室リモコンの電源を押してください。

③ 浴室リモコンで温度を変える場合は、リモコンのふたを開ける。

④ 温度が下がります 温度が上がります

温度が下がります 温度が上がります



●浴室優先スイッチとは

シャワーを浴びているときに台所リモコンでお湯の設定温度を高くされるとやけどのおそれがあり大変危険です。浴室優先にしておくと台所リモコンで温度を変えられません。浴室優先スイッチは、安全のためのスイッチです。シャワーを浴びるときは必ず浴室優先にしてください。

使用方法



- 水温によってお湯の出る量が変わりますので、下の早見表を参考にしてください。
(給湯量と給湯温度の早見表)

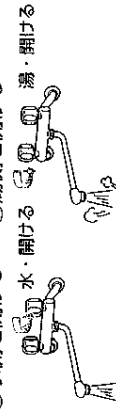
給湯温度	給湯量 (ℓ / min)									
	水温 5℃ (冬期)	15℃ (春期・秋期)	25℃ (夏期)							
40℃	RP432 15	RP441 17	RP440 21	RP432 (27)	RP441 (27)	RP440 (36)	RP432 (44)	RP441 (44)	RP440 (44)	
50℃	12	15	15	15	19	21	(27)	(27)		
60℃	10	12	12	15	15	15	19	19		
75℃	8	10	9	11	11	11	13	13		

() 内は、湯・水を混合した場合の値です。水圧・配管条件等により、得られない場合があります。

注意

- お湯を使うときは、リモコン画面で設定温度の確認をしてください。
- 高温設定で使用していた直後にリモコンの設定温度を下けても、配管内のお湯の温度は急には下がりにくいため、高温のお湯が出る場合があります。
- 設定した温度は記憶していますが、75℃設定のときは、やけど防止のためを切ると自動的に60℃に切り替わります。(RP441を除く)
- シャワーを使用する場合は、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- お湯を出すときは、まず水から。

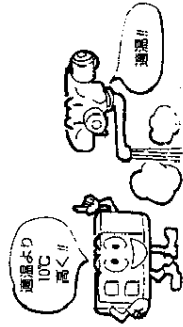
①水側を開ける ②湯側を開ける



高温注湯
温度を
たしかめて！

「ちょっと一言」

- 温度を調節するハンドルに、目安となる数字があるタイプ (サーモスタット付混合栓) をお使いのときは、リモコンの設定温度を使用温度より約10℃高くするとちょうどよくります。

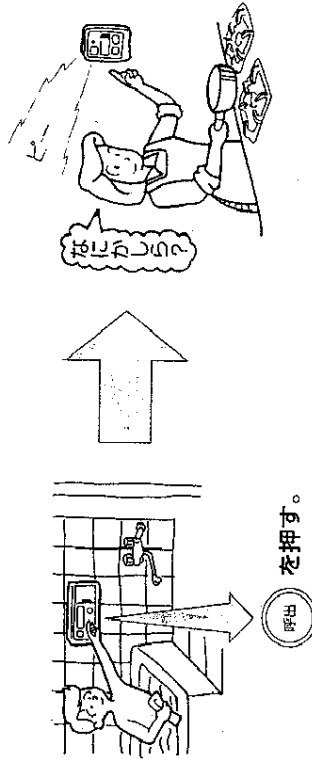


浴室から人を呼びたいときに

- 石けんやシャンプーが切れたときや、気分が悪くなったときなど、浴室から人を呼びたいときにお使いください。

を押してください。

※リモコンのブザーが鳴って知らせます。



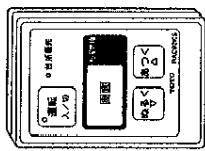
を押す。

浴室から人を呼びたいときに

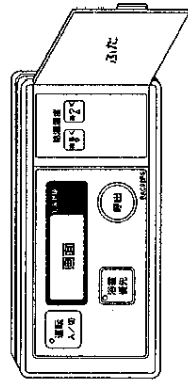
※ 使用方法

- リモコンのブザー音の調節ができます。
- リモコン画面の明るさの調節ができます。

■ 台所リモコン (付属品)



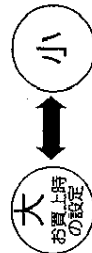
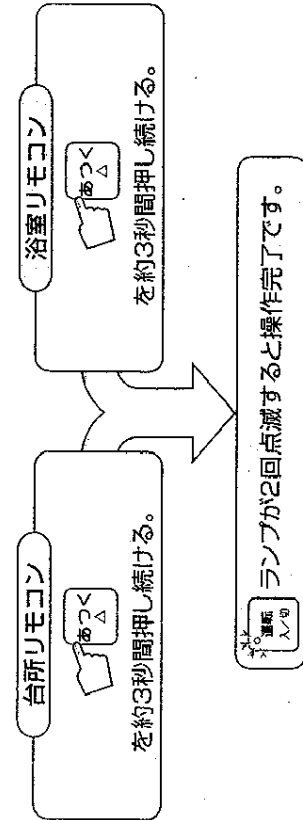
■ 浴室リモコン (別売品)



リモコンのブザー音の大きさを変えたいときに

- リモコンのブザー音を④の2段階に調節できます。
※別売品のサブリモコンはできません。

- ① 運転 入/切 が切れているのを確かめる。
- ② 変更したいリモコンのスイッチを押してください。



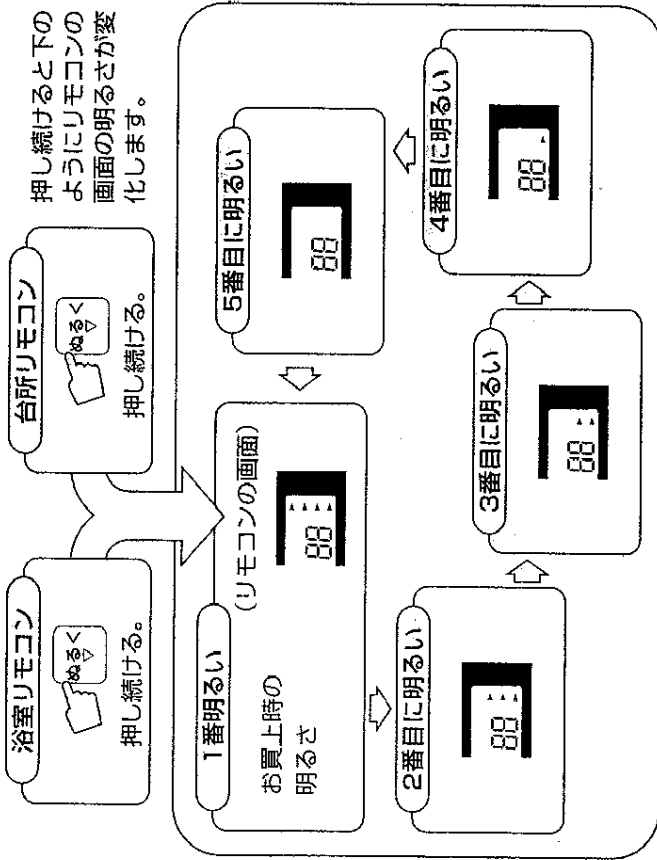
上の操作を繰り返すことで音量を④の⑨へと調節できます。

- 呼び出しブザーは変更できません。

リモコン画面の明るさを変えたいときに

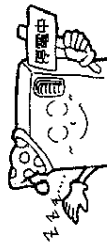
- リモコン画面の文字の明るさを、5段階に調節できます。
※別売品のサブリモコンはできません。

- ① 運転 入/切 が切れているのを確かめる。
- ② 変更したいリモコンのスイッチを押してください。



停電後の使用方法

- 機器の使用中に停電した場合は、通電後、もう一度運転スイッチを押して使用してください。
本機は、電気で動作しますので、停電中は使用できません。なお、リモコンの温度表示は初期設定 (42℃) に戻りますので再度設定しなおしてください。



使用方法

凍結予防

- 給湯機が凍結するとお湯が出ないばかりでなく、水漏れなどの原因になります。
 - 凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。
 - ※ 給水・給湯配管の凍結予防のため、各配管には保温材や電気ヒータ等を巻くなどの保温処置が必要です。
- 保温処置がされているか確認してください。

外気温がマイナス15℃までで無風するとき

機器の凍結性能は、外気温だけでなく風の強さによっても変わります。
たとえば、外気温がマイナス15℃にならなくても強風が吹いたときには、機器が凍結して破損することがあります。

- ・ヒータによる凍結予防
- ・通水による凍結予防

☞ 20 ページ

※ 冷え込みが厳しくなりそうなときは、「水抜き」を行ってください。

外気温がマイナス15℃以下するとき・長期不在のとき

「水抜き」による凍結予防を行ってください。

☞ 21・22 ページ

外気温がマイナス15℃までで無風するとき

給湯機の電源プラグをコンセントに差し込んでおくだけで自動的に凍結を予防します。
そのため、電源プラグは抜かないでください。



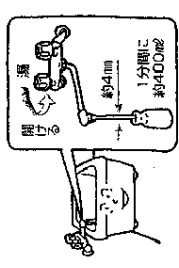
給湯機側

- 気温が下がってくると、ヒータにより給湯機内部をあたためます。
※ ただし、ヒータでは給水・給湯配管の凍結は予防できません。

給湯配管

給水・給湯配管や給水元栓の凍結が心配なときは通水してください。

- ① リモコンの「運転 入/切」を「切」にする。
- ② おふろの給湯栓を開け、1 分間に約400mℓ (牛乳びん約2 本分) の水を流し放しにしておきます。
※ 約30 分後に再度水の量を確認してください。



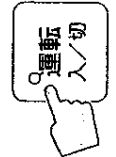
使用方法

外気温がマイナス 15℃以下・長期不在のとき

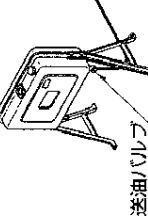
- 外気温がマイナス 15℃以下になるおそれのあるときや、長期間不在で給湯機を使用しないときは、つぎの手順で水を抜いて凍結予防を行ってください。

水抜き手順

1 台所リモコンの運転スイッチを切る。

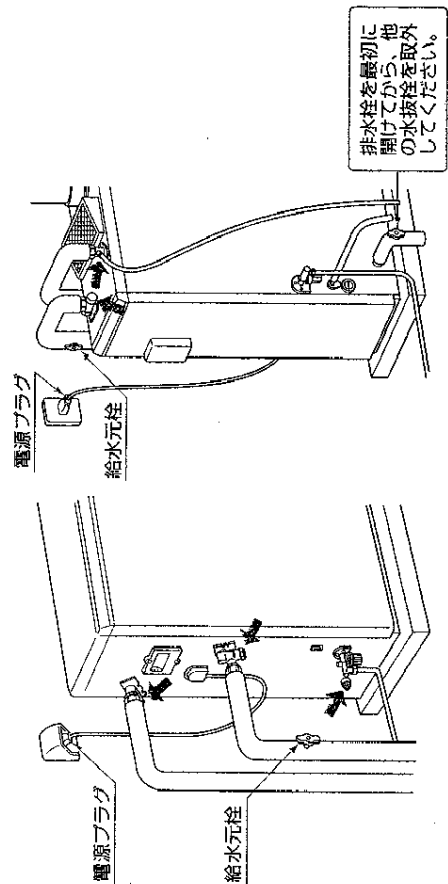


2 油タンクの送油バルブを開める。



屋外据置形

屋内据置形

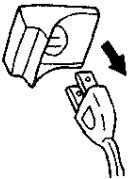


再びご使用になるとき

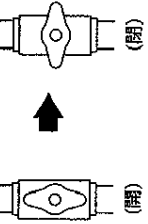
- ① 油タンクの送油バルブを開く。
- ② 「使用前の準備」に従って、ご使用ください。
P.11ページ

凍結予防・外気温がマイナス15℃以下・長期不在のとき

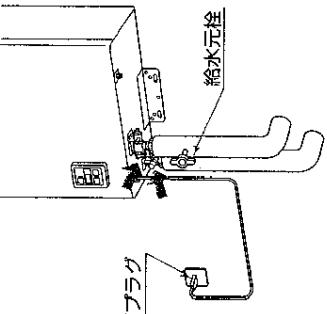
3 電源プラグを抜く。
(長期不在のとき)



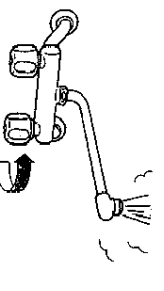
4 給水元栓を閉める。



屋内壁掛形



5 給湯栓を開ける。



6 水抜き栓を取り出し、水を抜く。(上図の給湯機イラストの部分)

7 水抜き栓から水が出なくなったら、10分程そのままにして、その後水抜き栓を取付ける。

使用方法

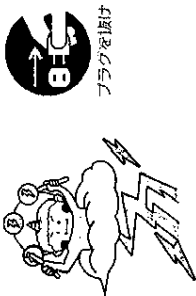
使用上の注意

注意

- 高温部接触禁止
 燃焼中や消火直後は、高温部（排気口周辺）、排気筒（排気筒トップ、給排気筒トップ）に手などふれないように注意してください。
 やけどのおそれがあります。
- 高温注意
 シャワーを使用する場合は、手で湯の温度を確かめてから使用してください。
 やけどのおそれがあります。
 入浴するときは、手で湯温を確かめてください。
 やけどのおそれがあります。
- シャワーを使用中は、使用者以外の人が設定温度を変更しないでください。
 高温に設定するとやけどのおそれがあります。
- 混合栓などで一度お湯を止めた後、すぐに再使用する場合は必ず給水栓から開け、つぎに給湯栓を開けてください。湯側から開けると、いきなり熱湯が出る可能性があります。
- 使用上の注意
 油タンクの元栓を開めた状態やリモコンの運転スイッチが「切」の状態でも給湯栓を開けないでください。火がつかない状態で通水すると機器内に結露水が発生し故障の原因になります。

雷時の処置

- 雷が発生しそうなときは、落雷による電子部品の破損を予防するため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグを差込んだままですと、大きな落雷のときに電子部品が破損し、使用できなくなることがあります。（保証期間内でも、有料修理となります。）



用途について

- 台所・シャワー・洗面などの給湯以外の用途には使用しないでください。
- 使用水の水质、配管材料の劣化、水あかなどにより水质が変わることがあります。なお、熱交換器や配管内に長期間たまった水は飲用または、調理に用いないでください。

リモコンの掃除

- 「酸性」「アルカリ性」の洗剤やシンナーなどは、割れや変色の原因になりますので使用しないでください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
 （台所・サブリモコンは防水タイプではありません。）



灯油の保管

- 灯油は必ず火気、雨水、ゴミ、高温及び直射日光を避けた場所に保管してください。

長期間使用しないとき

- ① リモコンの「運転」スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。
 - ② 油タンクの送油バルブを閉めてください。
 - ③ 機器の水抜きを行ってください。
 （「水抜き手順」を参照してください。P.21・22ページ）
- ※再使用する場合は「使用前の準備」に従ってください。P.11ページ

点検・手入れ

安全にお使いいただくために、点検・手入れを必ず行ってください。

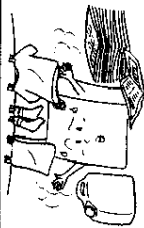
点検・手入れのときの注意

- リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントより抜いてください。
- 機器が冷えてから行ってください。
- 機器のサービスカバーを開けて、不完全な修理や改造は危険ですので絶対にしないでください。

点検・手入れの必要項目、時期、方法

周囲の可燃物・ほこり

- 機器の上や周囲は常に清掃し、燃えやすいものを置かないでください。(日常)



水漏れ

- 配管、継手部などから水漏れはないか確認してください。(日常)

油漏れ、たまり、にじみ

- 機器や送油経路から油漏れはないか確認してください。(日常)



接地

- アースは確実に取付けられているか確認してください。(日常)

給水栓のフィルター

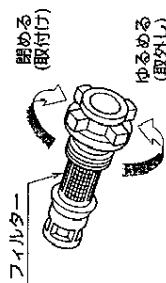
- 配管内のゴミがフィルターにつまると、お湯が出にくくなります。フィルターを掃除してください。(1年に1回以上)

- ① 給水元栓を閉め、給湯栓を開け機器内の圧力を抜く。

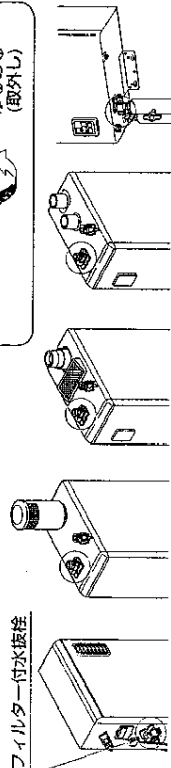
- ② フィルター付水抜栓の下に水受け皿を置く。

- ③ フィルター付水抜栓を外して水で洗い流す。

- ④ 元の状態に取付ける。



フィルター付水抜栓



排気口・排気筒トップ・給排気筒トップの接続部のゆるみ及び腐蝕

- 排気筒、給排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップが外れていないかふさがれていないか確認してください。(日常)
- 排気口、排気筒トップ、給排気筒トップの周囲に燃えやすい物が置かれていないか確認してください。(日常)

強制排気形のフィルター

(1週間に1回以上)

- 強制排気形のみフィルターの点検を行ってください。

- ① 上部のフィルターを外す。
- ② フィルターを水で洗い流す。
- ③ 元の状態に取付ける。



③ 水洗い後は必ず乾燥してから取付けてください。

排水チューブ

- 排水チューブが排水口または水受け等から外れていないか確認してください。
- 排水チューブ先端をふさいだり、チューブ途中で折れたりしていないか確認してください。

(日常)

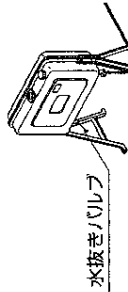
点検・手入れ

送油用ゴムホース

- ひび割れが発生していないか確認してください。(2カ月に1回以上)(交換の目安は、3年に一度です。)

油タンク内の水抜き

- 油タンクの下部にある水抜きバルブを開け、水やゴミを抜き取ってください。(1カ月に1回)



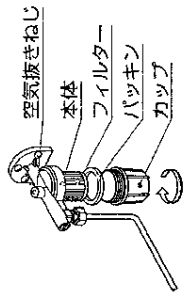
オイルストレーナーのフィルター

- オイルストレーナーのフィルターの掃除をしてください。(1カ月に1回)

- ① 油タンクの送油バルブを開める。
- ② オイルストレーナーの下に受け皿を置く。
- ③ カップを左に回して外す。
- ④ フィルターを外して、きれいな灯油で洗う。
- ⑤ 元の状態に取付ける。
- ⑥ 空気抜きをする。P.11ページ

※ 汚れのひどいときはフィルターを取替えてください。

お取付店または東陶メンテナンス (株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。



定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要です。
1年に1回程度、お取付店または、東陶メンテナンス(株)☎0120-1010-05(フリーダイヤル)または、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)のいるお店に点検依頼されることをおすすめします。

故障・異常の見分け方と処置方法

つぎのような場合は故障ではありません

- つぎのような場合は、それぞれ理由があり、心配ないものです。

現象	理由
はじめて使用するとき、煙や臭いが出る。	熱交換器などに付着した油が燃けるためで、しばらくするとなくなります。
施工直後や配管の凍結が溶けた後、お湯の出が少ない。	給水接端口の水抜き栓のフィルターにゴミがつまっています。P.26ページ
給湯栓から白い泡を含んだお湯が出る。	水がお湯になると水中の空気が分離するためで、使用には差しつかえありません。
過圧逃し弁からお湯が吹き出る。	機器の内圧が高くなると、圧力を下げるため自動的に過圧逃し弁が開くためです。
少量で使用すると燃焼表示が点灯したり、消灯したりする。	お湯の使用量が少ない場合にはバーナが点火・消火をくりかえすためです。
最初に給湯栓を開けたとき、お湯と空気が混ざって出る。	配管中にたまった空気が排出されるためです。
臭いやすが出る。	着火・消火時には、燃料の燃え残りが生じやすく、これがすすや臭いとなって出るためです。
燃焼を停止させても、しばらくの間ファンが回り放しとなる。	未燃ガスを機器外へ排出するために消火してから、約3分間ファンが回り放しとなります。
寒い日に排気トップから白い煙が出る。	排気ガス中の水分が外気に冷やされて水蒸気になるためです。また燃料が切れた場合も白い煙が出ますので、そのときは給油してください。
給湯栓を急に閉めたとき衝撃音が出る。	給湯栓を急閉止したときに発生する音です。

定規の点検の際は必ずこのようにしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

安全装置が作動したときの処置方法

- この機器はリモコン画面に安全装置の作動をチェックスサインで表示する機能があります。下表に応じた処置を行ってください。



チェックスサイン	異常内容	処置・調べていただきたいこと
消灯 【表示しない】	電源が切れています。	● 室内の漏電ブレーカは作動していませんか。 ● 電源プラグは確実に差込まれていますか。 以上を確認して異常がなければ機器の診断が必要です。 東陶メンテナンス（株）☎0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。
11 または 12	燃焼制御装置作動 ・ 着火動作は行っているが、バーナに着火しない。 ・ 燃焼中に消火し、異音・異臭がする。 ・ 異音・異臭がする。	● 送油バルブは十分開いていますか。 ● 油タンクは空になっていませんか。 ● 運転スイッチを「切」にし、空気抜き（P.11 ページ）をしてください。 ● 運転スイッチを「入」にすると自動的に復帰します。
15 または 16	入水温度高温警告 または 出る温度異常 （P.14 のみ）	● ソーラーと接続していませんか。 ● ソーラーと接続すると、リモコンの設定温度より高い温度で出湯することがあります。大変危険ですので、シャワーまたはお風呂の温度をよく確認して、ご使用ください。 ● やけどのおそれがあります。
22	火災自動消火装置 ・ 地震または強い衝撃を受けています。	● 機器及び周辺の油漏れがないか確認のうえ、いったん運転スイッチを「切」にして再度「入」にすると自動的に復帰します。
給油 （別添の油切れ検知装置を取付けた場合のみ）	油タンクの給油が必要です。	● 油タンクが残り少なくなっていますので、給油してください。
その他	安全装置が作動しています。	● 機器の診断が必要です。 チェックスサインを確認のうえ、東陶メンテナンス（株）☎0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。

その他の装置が作動したときの処置方法

装置名	作動の原因	処置
凍結予防装置 凍結予防ヒータで自動的に機器内をあたためて凍結を予防します。	● 給湯機の周辺温度が約4℃まで低下したとき	● 運転スイッチ「切」でも作動しますので、電源プラグは抜かないでください。
過圧逃し弁 機器の内圧を自動的に下げます。	● 機器の内圧が高くなったとき	● 過圧逃し弁からお湯が吹き出ることがありますが、故障ではありません。 ● 水受け等の処置を前もってしておいてください。
停電安全装置 停電したとき異常燃焼を防ぐために自動停止させる装置です。	● 停電のとき ● 電源プラグが抜かれたとき ● 電圧が異常に低下したとき	● 停電復帰後は運転スイッチが「入」になっているため運転を再開します。

- チェックスサインが表示したときに原因が解除されない場合は、機器の診断が必要となりますのでお取付店、または東陶メンテナンス（株）☎0120-1010-05（フリーダイヤル）に点検を依頼してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

修理を依頼される前に

- 修理を依頼される前につぎのことを確認してください。

現象	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない。	電源が入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込む。
お湯が出ない。	漏電安全装置が作動。	漏電の原因を調査する。
（リモコン画面にチェックサインが表示されない。）	お湯の使用量が少ない。	お湯の使用量を増やす。
熱いお湯が出ない。	水抜栓のフィルターのつまり。	フィルターの掃除をする。 （P.26 ページ）
適温のお湯が出ない。	希望の温度にリモコンが設定されていない。	温度を設定し直す。 （P.14 ページ）
リモコン画面に「22」表示	サーモスタット付混合栓の場合、リモコンの設定温度が適切でない。	温度を設定し直す。 （P.15 ページ）のちよっと一言
点火しない。	対震自動消火装置作動。	地震または強い衝撃を受けています。機器及び周辺の油漏れを確認し、再度運転スイッチを「入」にする。
（リモコン画面に「11」または「12」表示）	油切れ、または送油バルブが閉まっている。	給油または送油バルブを開ける。 （P.12 ページ）
	油タンクやオイルストレーナに水やゴミがたまっている。	油タンクの水を抜くまたはオイルストレーナの掃除及び空気抜きをする。 （P.27・11 ページ）

修理を依頼される前に・部品の交換のしかた

部品の交換のしかた

故障などの場合は、お取付店または東陶メンテナンス（株）（フリーダイヤル）にご相談ください。
なお、修理は（財）日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）などのいるお店に依頼してください。

現象	原因	処置方法
台所リモコンで温度が変えられない。	浴室リモコンの優先が切替っていない。	浴室リモコンの優先スイッチを押し、台所リモコンの優先ランプを点灯させる。 （P.14 ページ）
電磁ポンプの運転音が異常である。	送油経路に空気が入っている。	空気抜きをする。 （P.11 ページ）
燃焼音が異常またはすすが出る。	排気口、給・排気筒、給・排気筒トップの設置不良、またはつまり。	排気口、給・排気筒、給・排気筒トップを正しく設置する。
	給気口から排気ガスを吸っている。	排気口周辺の障害物を取除く。
送油経路に油漏れがある。	接続部のゆるみ、または、破損。	確実に締め付ける。 部品を交換する。
水漏れがある。	配管部の締め付け不足。	確実に締め付ける。

原因のわからないときや処置のむずかしいときは、お取付店または東陶メンテナンス（株）
☎0120-1010-06（フリーダイヤル）にご連絡ください。

製品仕様

形式の呼び	RP40K
本体番	RP40K・KB・KSS・KSSB
燃焼方式	圧力噴霧式
種給排気方式	屋外用開放形
給水方式	水道直結式
加熱形態	瞬間形
点火方式	高電圧放電式
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)
燃料消費量	5.3 ℓ / h
連続給湯効率	91%
連続給湯出力	46.5kW [40,000kcal/h]
熱交換器容量	0.9 ℓ
最低作動水圧	19.6kPa [0.2kgf/cm ²]
最高使用水圧	980kPa [10kgf/cm ²]
伝熱面積	1.1m ²
外形寸法	幅600mm 奥行250mm 高さ850mm
質量	41kg
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz
定格消費電力	点火時 147/139W 燃焼時 120/112W
排気温度	260℃以下
騒音レベル	50dB (A)
電流ヒューズ	10A・3A
温度ヒューズ	131℃・115℃
安全装置	対震自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置
その他の装置	凍結予防装置、過圧逃し弁
付属品	取扱説明書 (保証書付)、工事説明書、リモコン取付説明書、 台所リモコン一式 (木ねじ×2、Y端子×4)、排水チューブ、 アース線、送油銅管、銅配管セット

形式の呼び	RP40K
本体番	RP40KLS・KLSB
燃焼方式	圧力噴霧式
種給排気方式	屋外用開放形
給水方式	水道直結式
加熱形態	瞬間形
点火方式	高電圧放電式
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)
燃料消費量	5.3 ℓ / h
連続給湯効率	91%
連続給湯出力	46.5kW [40,000kcal/h]
熱交換器容量	0.9 ℓ
最低作動水圧	19.6kPa [0.2kgf/cm ²]
最高使用水圧	980kPa [10kgf/cm ²]
伝熱面積	1.1m ²
外形寸法	幅300mm 奥行600mm 高さ900mm
質量	43kg
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz
定格消費電力	点火時 147/139W 燃焼時 120/112W
排気温度	260℃以下
騒音レベル	50dB (A)
電流ヒューズ	10A・3A
温度ヒューズ	131℃
安全装置	対震自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置
その他の装置	凍結予防装置、過圧逃し弁
付属品	取扱説明書 (保証書付)、工事説明書、リモコン取付説明書、 台所リモコン一式 (木ねじ×2、Y端子×4)、排水チューブ、 アース線、送油銅管、銅配管セット

製品仕様

形式の呼び		RPH40K
本体品番	RPH40KE・KEB	RPH40KF・KFB
燃焼方式	圧力噴霧式	
種給排気方式	屋内用半密閉式強制排気形	
類給水方式	水道直結式	
加熱形態	瞬間形	
点火方式	高電圧放電式	
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量	5.3 ℓ / h	
連続給湯効率	91%	
連続給湯出力	46.5kW {40,000kcal/h}	
熱交換器容量	0.9 ℓ	
最低作動水圧	19.6kPa {0.2kgf/cm ² }	
最高使用水圧	980kPa {10kgf/cm ² }	
伝熱面積	1.1m ²	
外形寸法	幅300mm 奥行600mm 高さ900mm	
質量	43kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	点火時147/139W 燃焼時120/112W	
給排気筒呼び径	— D70	
排気筒径	φ106mm —	
給排気筒壁貫通部孔径	— φ120mm	
排気温度	260℃以下	
騒音レベル	49dB (A)	48dB (A)
電流ヒューズ	10A・3A	
温度ヒューズ	131℃	
安全装置	対酸自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置	
その他の装置	凍結予防装置、過圧逃し弁	
付属品	取扱説明書 (保証書付)、工事説明書、リモコン取付説明書、木ねじ×2、Y端子×4、化粧板、排水チューブ	

形式の呼び		RPH41K
本体品番	RPH41KF・KFWB	
燃焼方式	圧力噴霧式	
種給排気方式	屋内用密閉式強制給排気形	
類給水方式	水道直結式	
加熱形態	瞬間形	
点火方式	高電圧放電式	
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)	
燃料消費量	5.3 ℓ / h	
連続給湯効率	91%	
連続給湯出力	46.5kW {40,000kcal/h}	
熱交換器容量	0.9 ℓ	
最低作動水圧	19.6kPa {0.2kgf/cm ² }	
最高使用水圧	980kPa {10kgf/cm ² }	
伝熱面積	1.1m ²	
外形寸法	幅550mm 奥行265mm 高さ685mm	
質量	32kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	点火時139/134W 燃焼時109/106W	
給排気筒呼び径	D70	
給排気筒壁貫通部孔径	φ120mm	
排気温度	260℃以下	
騒音レベル	50dB (A)	
電流ヒューズ	10A	
温度ヒューズ	131℃	
安全装置	対酸自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置	
その他の装置	凍結予防装置、過圧逃し弁	
付属品	取扱説明書 (保証書付)、工事説明書、リモコン取付説明書、台所リモコン一式、接続コード (0.5m)、化粧板、壁掛金具、本体固定ねじ、木ねじ×11、カーブルプラグ×6、オイルストレーナー一式、送油ゴムホース、送油ゴム継手、ニップル、フレアナット、小ねじ×2、アース線、排水チューブ	

製品仕様

形式の呼び		RPH32K
本体	品番	RPH32K・KB・KSS・KSSB
	燃焼方式	圧力噴霧式
	種給排気方式	屋外用開放形
	給水方式	水道直結式
	加熱形態	瞬間形
点火方式		高電圧放電式
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)	
	燃料消費量	4.3ℓ/h
連続給湯効率		90%
連続給湯出力		37.2kW (32,000kcal/h)
熱交換器容量		0.9ℓ
最低作動水圧		19.6kPa (0.2kgf/cm ²)
最高使用水圧		980kPa (10kgf/cm ²)
伝熱面積		1.1m ²
外形寸法		幅600mm 奥行250mm 高さ850mm
質量		38kg
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz
定格消費電力		点火時114/113W 燃焼時89/86W
排気温度		260℃以下
騒音レベル		49dB (A)
電流ヒューズ		10A・3A
温度ヒューズ		131℃・115℃
安全装置		対露自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置
その他の装置		凍結予防装置、過圧逃し弁
付属品	取扱説明書 (保証書付)、工事説明書、リモコン取付説明書、	
	台所リモコン一式 (木ねじ×2、Y端子×4)、	
	アース線、送油配管、銅配管セット	

形式の呼び		RPH32K
本体	品番	RPH32KE・KEB
	燃焼方式	圧力噴霧式
	種給排気方式	屋内用半密閉式強制排気形
	給水方式	水道直結式
	加熱形態	瞬間形
点火方式		高電圧放電式
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)	
	燃料消費量	4.3ℓ/h
連続給湯効率		90%
連続給湯出力		37.2kW (32,000kcal/h)
熱交換器容量		0.9ℓ
最低作動水圧		19.6kPa (0.2kgf/cm ²)
最高使用水圧		980kPa (10kgf/cm ²)
伝熱面積		1.1m ²
外形寸法		幅300mm 奥行600mm 高さ900mm
質量		43kg
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz
定格消費電力		点火時114/113W 燃焼時89/86W
給排気筒呼び径		— D70
排気筒径		φ106mm
給排気筒壁貫通部孔径		— φ120mm
排気温度		260℃以下
騒音レベル		48dB (A)
電流ヒューズ		10A・3A
温度ヒューズ		131℃
安全装置		対露自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置
その他の装置		凍結予防装置、過圧逃し弁
付属品	取扱説明書 (保証書付)、工事説明書、リモコン取付説明書、	
	木ねじ×2、Y端子×4、化粧板、排水チューブ	

- 本製品はお取付日から1ヵ年保証です。(BL認定品は2ヵ年保証です。)
- この取扱説明書の最終ページが保証書になっています。必ずお取付店名、お取付日などの記入をお確かめになり、保証規定をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間中に修理を依頼されるとき
お取付店、東陶メンテナンス (株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル)、または当社事業所に「保証書」を添えて修理を依頼してください。
- 保証期間経過後、修理を依頼されるとき
お取付店にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。お取付店、または東陶メンテナンス (株) とメンテナンス契約を結ばれることをおすすめいたします。
- 補修用性能部品の最低保有期間について
当社はこの機器の補修用性能部品を製造打切後、最低7年 (BL認定品は10年) 保有しています。なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。
- 故障、修理の連絡先

東陶のお問合わせはTOTOお客様相談室へ

☎ 0120-03-1010 受付時間9:00~17:30(土・日・祝日を除く)

☎ 0120-1010-05 受付時間9:00~20:00

アフターサービスについてはご利用は東陶メンテナンス(株)へ

据付け場所の選定

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談ください。また、「標準据付け例」については次ページを参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で、騒音は大きく変わります。
- 騒音公害とならぬよう、十分配慮して設置場所を選択してください。
- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
 - 隣家から、なるべく離して設置してください。
 - ブロック塀などが近くにあるときは、音が反響して大きくなる場合がありますので注意してください。

標準据付け例

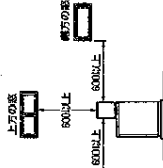
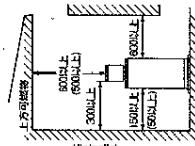
- 屋外設置形の場合
(よこ置型)

設置基準説明図 (単位: mm)	
● 機器上方は600mm以上離してください。 (防熱板等を使用の場合は500mm以上) ● 機器前方は保守点検スペースとして600mm以上開けてください。	() は防熱板等を使用の場合
● 機器後方は150mm以上離してください。 (防熱板等を使用の場合は50mm以上) ● 排気口の側方は300mm以上離してください。	() は防熱板等を使用の場合 ※左側面は配管スペースが必要です。
● 窓のない場所に設置できているか確認してください。もし、上方に窓がある場合は、600mm以上、側方にある場合は、排気口から300mm以上、機器側方から150mm以上離してください。	

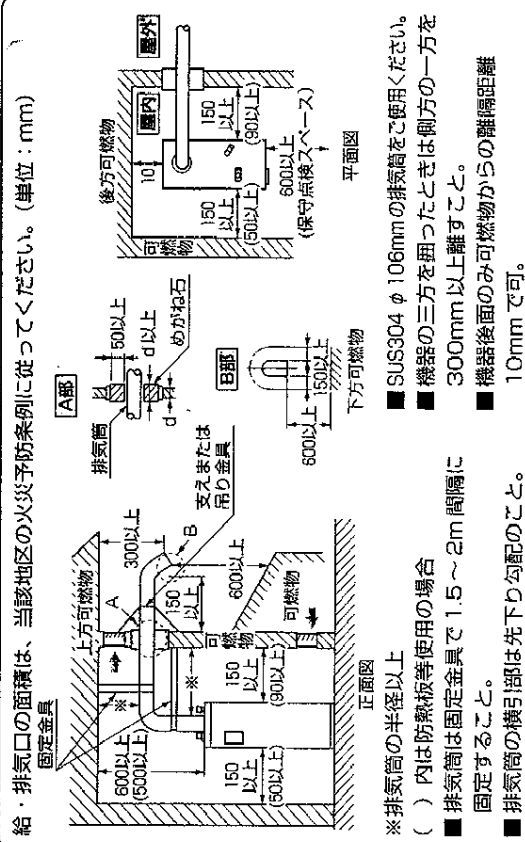
※設置条件が悪い場合や、機器の周囲を囲ったりすると発生することがあります。

(たて置型)

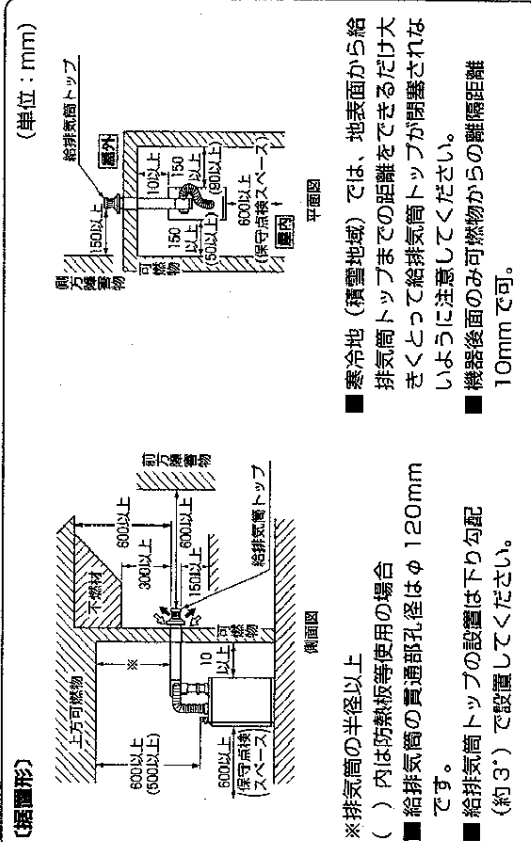
設置基準説明図 (単位: mm)	
● 機器上方は600mm以上離してください。 (防熱板等を使用の場合は500mm以上) ● 機器前方は保守点検スペースのため600mm以上開けてください。 ● 機器側方は150mm以上 (排気筒から300mm以上) 離してください。 ● 機器後方は150mm以上 (排気筒から300mm以上) 離してください。	() は防熱板等を使用の場合
● 窓のない場所に設置できているか確認してください。もし、排気筒の上方または側方に窓がある場合は、600mm以上離してください。	



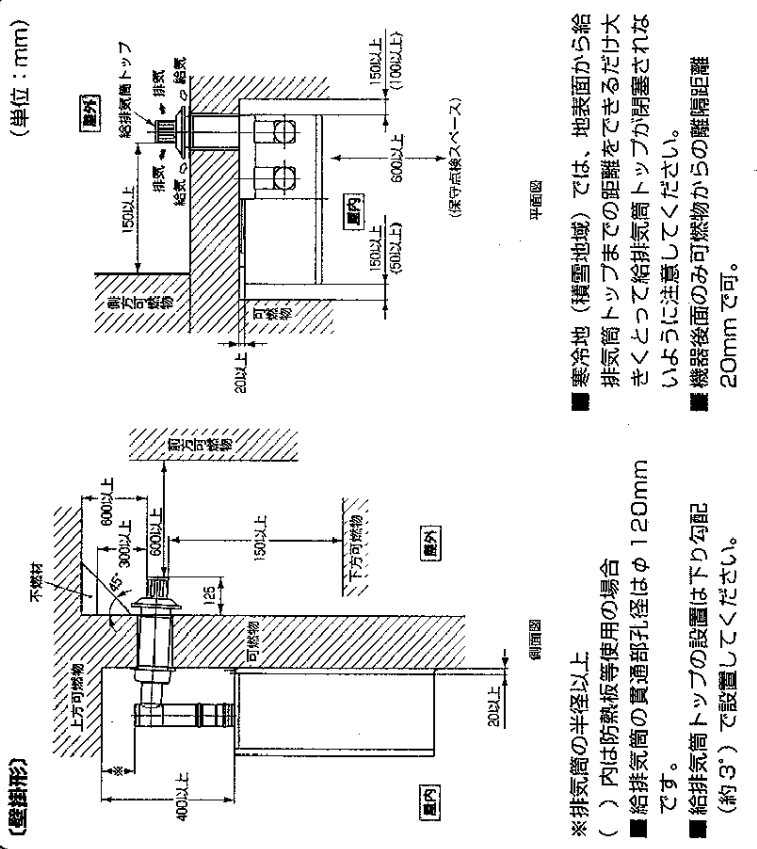
● 屋内強制給排気形の場合（防火性能評価認定品のため、下記寸法で設置できます。）



● 屋内強制給排気形の場合（防火性能評価認定品のため、下記寸法で設置できます。）



● 屋内強制給排気形の場合（防火性能評価認定品のため、下記寸法で設置できます。）



据付け

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みにになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているかどうか確認してください。

試運転

試運転は販売店または据付け業者とご一緒に必ず行ってください。

1. 運転準備

- (1) 給油**
 油タンクに灯油（JIS1号）を入れて、水抜きを行ってください。
- (2) 送油経路の空気抜き**
 給油後、油タンクの送油バルブを開き、21ページの手順で空気抜きを行ってください。
- (3) 油漏れの確認**
 油タンクと送油管の接続部、送油管とオイルストレーナの接続部などからも油漏れがないか確かめてください。
- (4) 機器への給水**
 給水元栓を開け、給湯栓から水が出てくることを確かめ、空気が出なくなってから閉めます。
- (5) 水漏れの確認**
 機器などの接続部から水漏れがないか確認してください。
- (6) 電源プラグ差込みの確認**
 電源プラグが専用のコンセントに確実に差込んであるか確認してください。

2. 運転

- (1) 運転開始手順**
 給湯運転
 運転スイッチを「入」にすると運転ランプが点灯します。
 次に給湯栓を全開にし、お湯が出るか確認してください。
 給湯栓を開けると燃焼し、燃焼ランプが点灯します。

据付け後の確認・試運転

(2) 初期運転時の異常現象

送油経路に空気がたまっていて不着火が発生したときは、安全装置が働いて運転を停止させます。
 リモコンのチェックサインが「11」または「12」を点滅表示します。

- このときは、いったん運転スイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
- 運転を始めて、10～20秒経しても着火せず、運転を停止する場合は、再度①の操作を行ってください。
 なお、この時発する「ピー」音は電磁ポンプの空打ち音で故障ではありません。
 ※着火して数秒間は排気口より白い煙が出ます。また、着火して約1分間は湯温が安定しないことがあります。

(3) 正常運転の目安

- ファンの回転異常音、電磁ポンプの異常音及び振動音はありませんか。
- 着火異常音（着火おくれなどによるもの）はありませんか。
- 排気口・排気筒トップ・給排気筒トップからのすす発生はありませんか。
 初期運転時に異常が発生しましたら、28ページの故障・異常の見分け方と処置方法を参考にしながら確かめてください。

試運転完了後、お客様が長期間使用されないときは機器の水を抜き、電源プラグを抜いておいてください。
 （水を抜くときは21・22ページを参照してください。）

3. 消火の手順

- リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お取付店又は東陶メンテナンス側に修理をご依頼ください。

お客様へ お客様 お取付店宛	機 型 番	品 番	保証期間	本体	お取付日から1カ年
お取付日	年	月	日	品 番	保証期間
				本体	お取付日から2カ年

★お客様へ
この保証書をお受け取りになるときに、お取付年月日、お取付店名、お客様が記入してあることを確認してください。本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- 取付説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、発配の期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を要する場合は、お取付店又は東陶メンテナンス側にご依頼のうえ出張修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前ににお取付店にご相談ください。
- ご購入品等で本保証書に記入してあるお取付店に修理できない場合には、お客様相談室にご相談ください。
- 保証期間内で有次の場合には有料修理になります。
 - ①使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②施工上の不具合、当該製品の純正部品を使用しなかった場合、お取付後の移動、落下等による故障及び損傷。
 - ③火災、地震、水害、停電、暴風、その他の天災地変、公害やガス漏（新化水素ガス）、爆発、異常電圧、漏や昆虫等類等の浸入による故障及び損傷。
 - ④指定外の燃料、電源（電圧、周波数）、不純燃料の使用及び水道法に規定する水質基準に適合しない水質及び地域での使用による故障及び損傷。
 - ⑤一般家庭用以外（例えば業務用での使用又は船舶、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - ⑥砂やゴミがみだりに入る不具合及び、リング、パッキン等消耗部品の損傷。
 - ⑦本書の趣意がでない場合。
 - ⑧本書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

サービス記録

年	月	日	サービス内容	担当者

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様に法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等について不明の場合は、「お客様相談室」又は「東陶メンテナンス側」にお問い合わせください。

東陶機器株式会社

〒800 京都府京都市下京区目黒町1-10-11 TEL:090(95)1211